

小泉産業株式会社 様

小泉グループ全体でセキュリティレベルとICT資産の運用管理を向上



照明・家具・住宅設備など、日々の暮らしに豊かな快適空間を提供する価値創造の専門集団・小泉産業グループを統括する小泉産業株式会社様(以下、小泉産業様)。より安全で利便性の高い情報管理体制の構築を目指して、グループネットワークに接続する端末へICTガバナンスの統制支援ツール「FUJITSU セキュリティソリューション ProIT Policy N@vi」^{*1}(以下、「ProIT Policy N@vi」)を導入されました。富士通システムズ・ウエスト(以下、FWEST)はグループセキュリティポリシーの策定からグループ各社への導入、PDCAサイクルによる運用の向上まで、継続的な提案とサポートで貢献し続けています。

導入前の課題

グループネットワークへの接続端末やソフトウェアなど、各社のICT資産の実態が把握しにくい。

各社のICTデバイス活用シーンが異なり、情報セキュリティ対策も水準が異なりリスクが大きい。

導入後の効果

インベントリ収集機能により各社の「ICT保有資産のいま」が明確化され、運用管理がスムーズに。

テンプレートを活用し共通のグループセキュリティポリシーを策定し、遵守率の「見える化」も実現。

「必ず守るべきセキュリティレベル」に絞り実現したグループの統一ポリシー

「KOIZUMI」ブランドを展開する小泉グループは、今回グループ7社の統一セキュリティポリシーを策定し、「ProIT Policy

N@vi」を導入して保有ICT資産の管理・運用を強化しました。

「各社で事業内容も業務フローも違い、セキュリティポリシーの統一は難しい。一方で、グループ共用のICTインフラ

を統括する立場として、かねてから最適な管理ツールの必要性を感じていました」。そう振り返るのは、情報システム部長の矢本博康様です。

最大の懸念は、1社でも情報漏洩などの弱点があれば「蟻の一穴」となり、グループ全体の安全と信用が崩壊することです。セキュリティレベルの統一という課題解決に向け、FWESTの富田綱樹は7社が足並みを揃える難しさを踏まえ、一つの提案をしました。

「まずは必ず守るべきセキュリティレベルに絞ったグループ統一ポリシーを共通の出発点にしてはどうですか」。

統一ポリシーの早期策定に役立ったの

が、「ProIT Policy N@vi」のポリシーテンプレートです。グループ全体で守ること、各社の運用に任せることを選別し、ウィルス対策ソフトの運用状況やWindows更新プログラムの適用時期など、グループネットワークの接続に関する約20項目のグループポリシーが決まりました。

「各社の運用を尊重した柔軟性の高いものに、という方向性を変えずに済みました。FWESTさんのアドバイスがなければ、まだ先が見



グループ経営統括部
情報システム部
部長
矢本 博康様



グループ経営統括部
情報システム部
営業開発1課 課長
杉村 剛様

えないままだったでしょうね」(情報システム部課長の杉村剛様)。

各社の課題を共有し、 更なるICTガバナンスの意識向上

グループポリシーを策定する舞台となったのが、各社の情報システム担当者で構成する「グループ情報協議会」です。グループの効率的なICT投資を検討し、各社の課題も共有する場として定期的に開催しています。

「方向性を示すのは私たちでも、投資コストを負担し、実際に運用するのは各社。高い納得性を得るには、吟味に値する付加価値が必要です。『ProIT Policy N@vi』はセキュリティ以外に資産管理機能もあり、端末台数やインストールソフトウェア数など、保有ICT資産の『いまの姿』が把握できる。各社の関心はそちらの方が高かったほどです」(矢本様)。

2014年春、グループ7社に導入を完了した「ProIT Policy N@vi」は、インベントリ収集機能で、グループ各社が保有する約1,400台のマルチデバイスとインストールされたソフトウェアを一元管理し、適材適所の配置・活用や不正利用の是正につ

なげています。またセキュリティ面でも、統一ポリシーの遵守率や「何が守られていないか」をWebダッシュボード画面で見ること、潜在する課題に対応できるようになりました。また、連携ソリューションとして「iNetSec Smart Finder」※2も導入し、さらに高度なグループネットワークのセキュリティ体制を確立しています。

「協議会メンバーから各社のログの問い合わせも増え、グループ全体でICTガバナンスの意識が高まっているのを、肌で実感しています」(杉村様)。

「あるべき姿」を目指して 継続的な運用向上へと始動

将来のあるべきICTガバナンスの姿を描き出すグループ情報協議会はいま、「ProIT Policy N@vi」の運用向上が新たなテーマです。「各社の本格的な運用でポリシーを進化させながら、グループ全体でセキュリティと資産管理の運用を向上させたいですね。さらに管理データの有効活用も重要と感じています。端末電源の利用時間を労務管理に連動させた残業削減や、増えるBYOD※3の活用シーンへの対応など、

新たな価値を生み出す可能性を広げて、グループシナジーにつなげていきたいですね」(矢本様)。

「社内システムとして初めてクラウドサービスを導入し、もっとクラウドを活用してみたいと、今後に向けて弾みがつましました。的確なサポート

をこれからもお願いしますよ」(杉村様)。

期待の声に、FWESTは力強く応えます。

「サービスを導入して終わりではなく、継続的な運用が重要です。新たなセキュリティ対策など今後の環境変化に対応できるよう、様々な価値を提供してまいります」(富田)。

「常に最新機能が使えるというクラウド環境のメリットを活かし、立ち止まることなく、高い満足度につながる提案をしてまいります」(笠井省宜)。

※1「セキュリティ・ICT資産統制・エコシステム運用」の4つの最適化ポリシーを策定し、ICTガバナンスの向上を支援するマルチデバイス対応のオールインワンクラウドサービス

※2 LAN上の不正侵入を防ぐ端末制御装置 (PFU社製)

※3 Bring Your Own Device/私用・個人所有端末の業務利用

お客様概要

小泉産業株式会社 様



- 設立 / 1943 (昭和18) 年6月25日 (1716年創業)
- 所在地 / 大阪市中央区備後町3-3-7
- 代表者 / 代表取締役社長 梅田 照幸
- 従業員数 / 85人 (グループ連結・1599人) (2014年3月31日現在)
- 事業内容 / 照明事業 (住宅・店舗の照明空間設計)、家具事業 (学習環境家具・高齢者向け介護機器や自立支援家具) の企画・開発・製造・販売、住設販売事業 (住宅設備機器の販売・取付)、物流事業、セットアップ・サービス事業 (ホテル・会社施設への家具・什器・設備の搬入設置) など幅広く事業展開。
- URL / <http://www.koizumi.co.jp>



小泉産業株式会社様の皆様と富士通マーケティング、富士通システムズ・ウエスト プロジェクトメンバー

○本紙に記載されている社名・製品名・サービス名は各社の商標または登録商標です。 ○本紙に記載されている肩書きや数値、固有名詞などは取材当時のものです。

お問い合わせ先

富士通株式会社

〒540-0001 大阪市中央区城見 2-2-22 マルイト OBP ビル

E-mail: contact-itpolinavi@cs.jp.fujitsu.com

TEL: 06-6920-6050